

松山市中心市街地の将来像

中心市街地の活性化は、『3C』が基本方針

- ①賑わう場所にしたい、来ていただきたい「Coming」!
- ②便利な場所にしたい「Convenience」!
- ③快適な場所にしていきたい「Comfortable」!

【中心市街地に誘導したい建物用途の基本的な考え方】

- ・中心市街地は、観光やビジネスなどで多くの人交流するエリア
- ・様々な都市機能があるのでマンションなどへの居住者も増加している

- ・商業施設(飲食、物販)、交流広場、マンション、オフィス、ホテル、歴史・文化施設などが必要

JR松山駅周辺

- ・四国の陸の玄関口として、国内外から人が集まり交流するエリアで、街中や道後はもとより、東予や南予へも送り出す役割を担い、楽しさや賑わいに満ちたエリアに整備する

【具体例】エンターテインメント機能を持ったアリーナやホールのほか、アミューズメント施設、飲食や商業施設、アーバンスポーツ施設、ホテル、交流広場、バスターミナルなどが必要

- ・機能分担により連携を強化
- ・国内外から集客した人々を路面電車などで誘導

松山市駅周辺

- ・地域交通拠点となるエリアで、市民を集め、人々の往来と賑わいをつなぐ役割を担い、現在進む再開発事業によって、交通利便性の向上や、さらなる賑わいを創出する
- 【具体例】市民やビジネスマンを対象とした商業、オフィス、飲食、ホテルなどが必要



道後温泉周辺

- ・歴史、文化、アートが薫るエリアで、市内外はもとより、全国や世界から人を集め、街中や県民文化会館へ送り出す役割を担い、市民・観光客ともに快適に過ごすことができる魅力ある観光地を形成する

【具体例】観光客や富裕層向けのホテル、飲食、歴史・文化施設などが必要



道後温泉本館
別館飛鳥乃湯泉
椿の湯

一番町大街道口周辺

- ・観光客を受け止め、中心部とつなぐ役割を持ったエリアで、集客の核となる再開発事業を、引き続き促進する
- ・昼間の集客はもとより、ナイトタイムを見据えた新たな飲食や商業施設の集積などにもつなげる

【具体例】高層階にホテルやマンション、低層階に商業や飲食などが必要

県民文化会館周辺

- ・インバウンドを含む観光客の集客や国際会議による賑わいが生まれるエリアで、市内外から人を集め、道後や街中へ送り出す役割を担う

おもてなしエリア
(ナイトタイム
エコノミー)

銀天街L字地区

- ・暮らしと賑わいが共生するエリアで、市民を集め、街中へ送り出す役割を担い、集客の核となる再開発事業を、引き続き促進する

【具体例】高層階にマンションやオフィス、低層階に商業や飲食などが必要

1. 松山市のまちづくり

- ・『第6次松山市総合計画』、『松山市中心市街地活性化基本計画』、『松山市都市計画マスタープラン』、『松山市立地適正化計画』などを基に、国・県・市・民間事業者などと協議を重ねながら検討
- ・将来にわたって誰もが質の高い生活が出来るコンパクトシティを目指す
- ・中心市街地の活性化は『3C』が基本方針

2. 中心市街地将来像の基本的な考え

- ・JR松山駅や松山市駅周辺の再開発を進めるとともに、L字地区や一番町の再開発事業の支援を積極的に行うなど、各拠点の活性化を図る
- ・花園町通りのように道路整備したり、公共交通の利便性を高めるなどし、JR松山駅から道後までを、つながりのあるネットワークとして構築し、『歩いて暮らせるまちづくり』を進める